

カンダにご縁のあった方にお届けします！

第11号

発行日：2008.10

酢豚に「パイナップル」



所信

この記事は、代表取締役「神田 智昭」が担当しました。

革めまして、平成20年9月1日より株式会社カンダの社長を仰せつかりました、神田智昭です。若輩者ですが、一生懸命に勤めますので、ご指導ご協力の程、宜しくお願いたします。

現在の経済状況は、アメリカの金融不安による株価の下落、かつてないほどの原油価格の高騰、原材料の高騰などで経済状況は、過去最悪の状況下です。その中で、スタートを切ることの責任の重さと不安と恐怖を感じております。しかし、その重圧を楽しみと喜びに換え、夢を持って挑戦しようと思えます。皆様の協力をより一層お願いいたします。

私の基本姿勢は、『お客様に喜んでいただく』ということです。常にお客様第一です。「誠意」「気配り」「感謝」「笑顔」「努力」を社是とし、消費者への責任、納入先への責任、社員への責任、社会への責任、株主への責任、を基本理念として常に頭に置き行動します。

私の夢は、『燕三条に本格的中国料理店をつくること。』と『野球チームのオーナーになること』です。

燕三条発！ 燕三条をリードする会社にするためがんばります。どうぞよろしくご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

神田 智昭

社員紹介



こんにちは。営業部で本紙発行委員の、南波仁と申します。私は1965年燕市に生まれ、三条商業高校を卒業後、甲府市で就職、5年を経て燕市にUターン、以後ずっとこの町で働き、暮らしています。この間、製菓製パン材料販売に計7年ほどと、業務用調理道具販売に計17年ほど携わってきました。

個人の履歴といえどこんな程度の平凡なものですが、私の最大の特徴はこの外見にあります。テカテカのはげ頭。親しみやすくはなくとも、覚えやすいものだと思います。お電話等で応対した時などは、「ああ、あのハゲか」とイメージしていただければ幸いです。

実はこの酢豚に「パイナップル」では、こういったことをお伝えすることもその主旨のひとつです。紙面を通じて、私共を少しでも身近に感じて頂きたい、そんな気持ちで毎月お届けしていますので、今後ともよろしくお願い致します。



外国人と白いボール

この記事は、営業本部長の「笠原 行雄」が担当しました。

◆○○○に夢中！！

以前、英語の勉強でボケ防止のお話をしましたが、英語を通じて色々な人と知り合える事が出来ました。

目が合い話しかけて来た外国人。私の発音は通じるのか？不安な中で知っている英語で応戦！以外に話せるものだなあ！

で、知り合ったオーストラリア出身のパトリック。



ネイティブスピーカーの生の英語とフィーリングが勉強出来ます。

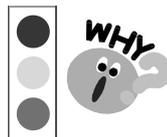
先日は「ハイ！ユキオ！何で日本ではグリーンなのにブルーなの？」って、勿論、中身は英語で突然言ってきます。聞くと信号機。

グリーンなのに日本語では「青」って何で？緑・黄・赤ではないのか？です。

パトちゃんに私の片言の英語で理解してもらえるか？

アルコールを多く含んでいる私の脳はショート寸前！結局は説明出来ませんでした。

英語の前に皆さん、教えてください。確かに緑ですが「青」と言いますよね！



私のもう一つの趣味、「ゴルフ」。オーストラリアは大陸です。ゴルフ場は広くて安い。日本は狭くて高い。と言ってもルールは共通。ボール談義は英語と日本語のチンプンカンプンです。でも、楽しく勉強が出来ます。これで多少はボケが遅れそうです。が、毎日話さないと忘れるのはボケの証拠？



〒959-1272
新潟県燕市杉柳912
TEL:0256-63-4541 (代表)
FAX:0256-64-2960
e-mail:kanda@kankuma.co.jp
http://www.kankuma.co.jp/



ちょっとだけ、のぞいてみましょう。

この記事は、営業部の「金子 隆」が担当しました。

◆ トングで特許????

今回は燕市内にある田辺金具さんの工場見学をしてきました。

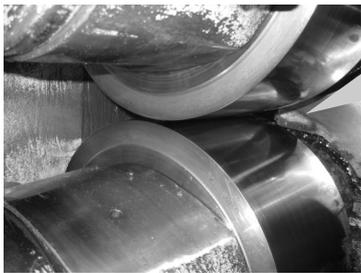
田辺さんは昨年の特許を取得したトングの製法があります。その工程について勉強させてもらいました。

一番の特徴は、ロール加工を行いトングの本体自体にバネの代わりになる部分を作ることにあります。

ではロール加工とは????

それは、写真のようなふたつのローラーの間にトング持ち手部分を通して、板厚2mm以上のステンレスを1mm以下にまで、潰し延ばして薄くします。

するとその部分にはバネのような弾力が生まれます。



ここに挟む

このバネの部分の他に、頭の部分にもこのロール加工を施し、広く大きく延ばして握みやすい形にして製造します。

工程だけで10工程ほど!

こうして出来上がるトングの価格は板バネトングより高いですが、それだけ手間をかけて製造していますし、なによりも、

板バネより柔らかいバネの感覚と、

全てが一体成型のため、異物混入が無く安心な商品ですよ。



シース お店のマナー

この記事は、営業部の「奥村 耕一」が担当しました。

◆ 今までとは趣向をかえていきます。

今まで様々なビジネスシーンにおけるマナーを学んできました。

今回からは、飲食店や量販店、はたまたコンビニエンスストアに至るまで、客として様々なお店を訪ね、そこで見つけた店員さんの優しいマナーをご紹介しますと思います。

記念すべき第1回目は、とあるコーヒーショップです。

私は以前からこのコーヒーショップの店員さんが好きです。

チェーン店なのに、どこのお店に入っても、気持ちの温まる対応と、思わず唖ってしまうような気配りで私を幸せな時間にいざなってくれるのです。

では、その素晴らしい気配りの一例をご紹介します。

ある休日にもそのお店に入ったときの話です。比較的客入りが落ち着く時間帯に行ったにも関わらず、レジには3人ほどの列ができようとしていました。

その時です。

店の奥の方で掃除をしていた店員さんが混んでいるレジの隣に立ち、「大変お待たせいたしました、こちらのレジへどうぞ」と言ったのです。



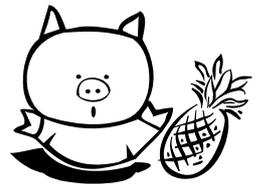
普通のお店であれば、レジ打ちをしている店員が「レジお願いします」と他の店員を呼ぶでしょう。

下手すれば「レジ混んでるでしょ」なんて言いかねないお店もあります。

まるでレジに並んでいる客が悪いみたいに言うんですね。

店員同士のやりとりなんて、客は聞きたくないんです。呼ばれる前に気づいて動く。それだけで客の気持ちは大きく変わるものです。

今週もまた、気持ちの良い店員さんのお店に癒されに行きたいと思っています。



酢豚に「パイン」

カンダにご縁のあった方にお届けします!



株式会社カンダ
〒959-1272

新潟県燕市杉柳912

(流通センター入口)

TEL: 0256-63-4541 (代表)

FAX: 0256-64-2960

e-mail: kanda@kankuma.co.jp

http://www.kankuma.co.jp/

ホームページもご覧ください
<http://www.kankuma.co.jp/>